

株式会社横浜アートニクス

2022 年度環境経営レポート

(対象期間 2022 年6月1日～ 2023 年5月31日)



® 環境省

エコアクション21
認証番号0003852

発行日：2023年6月5日

目 次

項 目	ページ
<input type="checkbox"/> 環境経営方針	3
<input type="checkbox"/> 組織の概要	4
<input type="checkbox"/> 認証・登録の対象組織・活動	4
<input type="checkbox"/> 環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
<input type="checkbox"/> 主な環境負荷の実績	6
<input type="checkbox"/> 環境経営目標及びその実績	6
<input type="checkbox"/> 環境経営計画の取組結果とその評価	7 ~ 8
<input type="checkbox"/> 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	9
<input type="checkbox"/> 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	10
<input type="checkbox"/> 外部からの環境上の苦情・要請等	10
<input type="checkbox"/> 緊急事態対応の試行・訓練	10
<input type="checkbox"/> 代表者による全体の評価と見直し・指示	11
<input type="checkbox"/> 取組紹介欄	11

環境経営方針

【基本理念】

当社は、電気・電子機器のソフト・ハードウェア開発において、地域ならびに環境への関連性を考慮し恒久的に環境に配慮した開発を行い社会に貢献します。

【行動方針】

1. 法令規制の理解に努め、当社に適用する環境関連法規を遵守します。
2. 以下の項目を重点目標とし、環境負荷の低減に継続的に取り組みます。
 - ①電力の使用量削減による二酸化炭素排出削減に努めます。
 - ②紙使用量の削減、廃棄物の分別・リサイクルにより廃棄物排出削減に努めます。
 - ③節水に努めます。
 - ④グリーン製品の積極的な購入に努めます。
 - ⑤環境へのプラス影響を促進するサービスの提供に、積極的に努めます。
3. 環境教育や社内広報活動により、環境マネジメント・システムの維持・向上に努めます。
4. 環境経営レポートを社内外へ公表します。
5. 環境経営方針に基づいた目標・活動計画について全社員への周知徹底に努め、社内のみにとどまらず、社会人としての環境保全意識の向上を図ります。

制定日：2008年10月1日

改定日：2022年6月6日

代表取締役社長 久家 雅英

□組織の概要

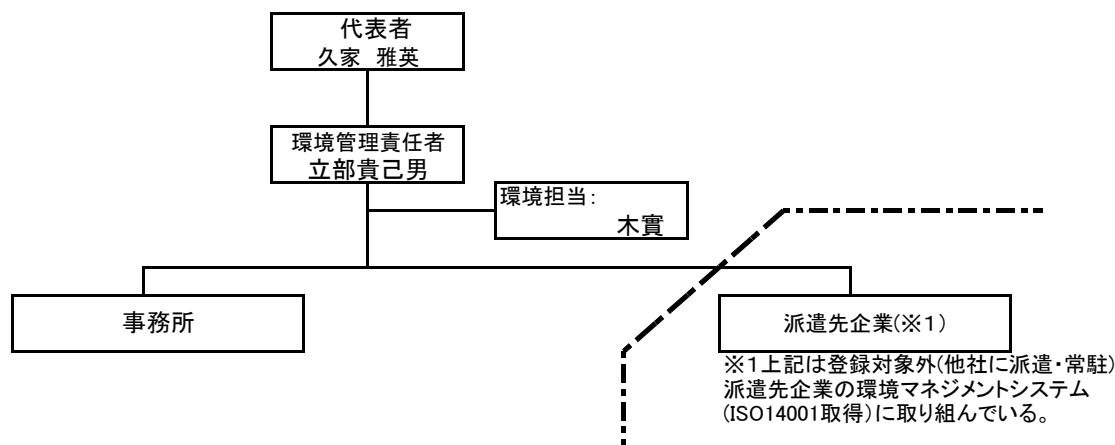
更新日：2023年6月2日

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 横浜アートニクス
代表取締役社長 久家 雅英
- (2) 所在地
本 社 福岡市早良区百道浜2丁目1番22号 福岡SRPセンタービル606-B
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 技術部マネージャー 立部 貴己男 TEL:092-846-0611
担当者 木實 幸代 TEL:092-846-0611
- (4) 事業内容
電気・電子機器の開発設計
・回路設計 ・FPGA(Fied Programmable gate array)設計
・実装設計 ・プリント配線設計
- (5) 事業の規模
売上高 232 百万円
- | | 本 社 | 派遣先企業(※1) | 合 計 |
|----------------------|-----------------------|----------------|------|
| 役員・従業員 名 | 9 名 | 21 名 | 30 名 |
| 延べ床面積 m ² | 131.07 m ² | m ² | |
- ※1 21名は社外常駐勤務の為、実質エコアクション対象社員は9名である。
- (6) 事業年度 6 月 1 日 ~ 5 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社 横浜アートニクス
対象事業所： 本 社
活動： 電気・電子機器の開発設計

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する最高責任者 ・環境経営システムの実施に必要な資源(資金、人材等)を用意する ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境担当	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
活動参加者 事務所内従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動の推進 ・環境管理責任者の指示への対応

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	4,510	4,512	5,387	4,156	3,683
一般廃棄物(ビル管理共通処理)	kg	162.5	122.1	136.1	67.7	52.4
コピー用紙使用量	kg	9.06	7.74	7.76	8.03	6.76

※2018年～2020年二酸化炭素排出係数 0.463 kg-CO₂/kWh (九州電力:2017年度調整後排出係数)

※2021年～2022年二酸化炭素排出係数 0.371 kg-CO₂/kWh (九州電力:2020年度調整後排出係数)

※水使用量:当社は入居ビル管理の為、使用量の数値的な把握が出来ません。

※化学物質:当社は化学物質の使用がありません。



□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年)	2022年		評価	2023年 (目標)	2024年 (目標)
			(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	4,316	4,230	3,683	○	4,187	4,143
	基準年度比	2020年	98%	85%		97%	96%
一般廃棄物の削減	kg	67.7	67.0	52.4	○	66.3	65.7
	基準年度比	2021年	99%	77%		98%	97%
コピー用紙の削減	kg	10.46	7.95	6.76	○	7.85	7.85
	基準年度比	2017年	76%	65%		75%	75%
グリーン購入の推進	事務用品	—	—	40	×	—	—
	グリーン用品	—	—	15		—	—
	対応率(%)	—	51.5%	37.5%		51.5%	51.5%
算出方法: 2019年～2022年までに購入した47品を対象とし、その内グリーン用品27品購入済(割合率57.4%)。これを参考に2023年以降の目標数値を設定						60.0%	60.0%

※ コピー用紙(A4サイズ)は、坪量60g/m²(3.7422g/枚)にて算出した。

※ 水使用量に関しては入居ビル管理の為、日常的な節水のみを目標とし、基準値、目標値等は設定しない。

※ 化学物質は取り扱っていない為、基準値、目標値等は設定しない。

※ 製品への環境配慮については、受託業務開発仕様への進言が主となり目標値は設定しない。

※ グリーン購入の推進の目標対応率は算出方法を変更し数値変更する。

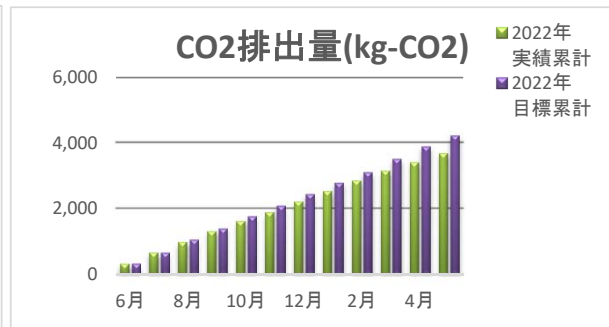
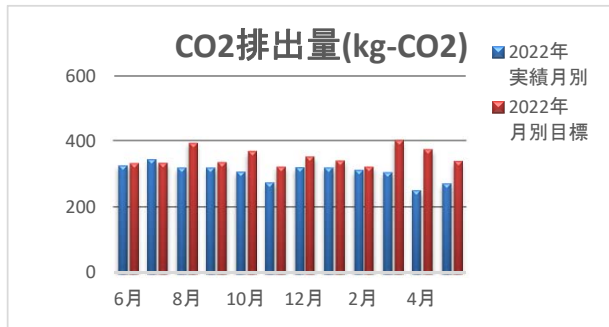
□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった



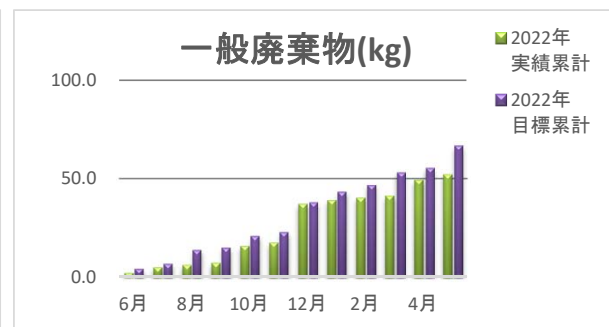
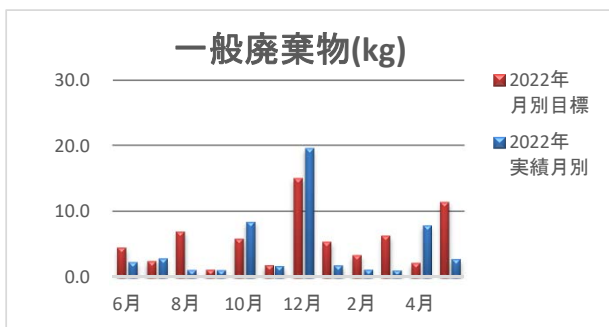
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成。	数値目標変更なし
・空調温度の適正化(冷房26℃～28℃ 暖房22℃～20℃)	◎	1年を通して今回は7月のみ目標達成が出来なかった	継続
・外気温が比較的低い場合、窓の開閉にて温度調整を行う。	○	が、最終的には大幅な削減に成功した。一つは冷蔵庫の	継続
・クールビズ・ウォームビズでの服装による温度調節	○	買い替えによる削減だと思う。また、昨年より事務所内勤	継続
・OA機器の省エネモード設定	○	務が通常より少なかった事で例年より電気使用量が抑え	継続
・朝8時30分まで消灯(但し1ブロックのみ7時15分より照明)、昼休み消灯	◎	られたのではないと思う。	継続
・電気製品の電源OFFの徹底	○	次年度数値目標変更なし。	継続
・未使用設備の節電(消灯等)	◎		継続



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2022年 月別目標	334	334	394	336	370	323	354	341	323	403	376	341
2022年 目標累計	334	668	1,063	1,399	1,769	2,092	2,446	2,788	3,110	3,514	3,889	4,230
2022年 実績月別	327	346	321	320	308	276	321	320	313	306	252	272
2022年 実績累計	327	673	993	1,313	1,622	1,897	2,219	2,539	2,852	3,159	3,411	3,683



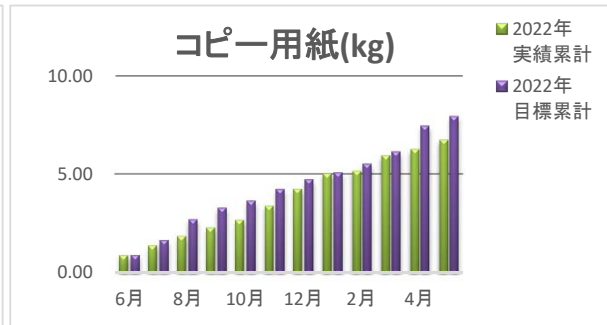
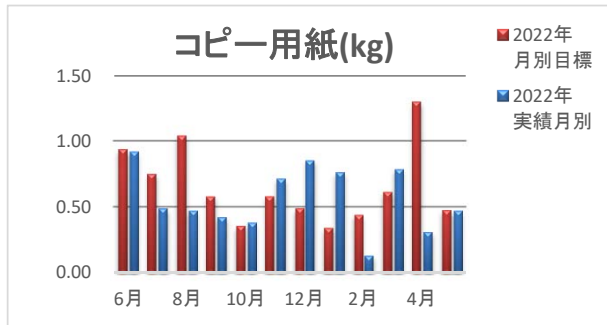
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成。	数値目標変更なし
・燃えるゴミ=資源ゴミ(管理ビル共通処理方法変更)の為、分別の徹底を行う。	◎	今年から基準年を変更し取組を行ったがゴミ削減達成段階ボール	継続
・回収専用ボックスを設置し、用紙表面の有効活用を推進する。	○	や雑誌類をまとめて出す日はどうしても未達成になった。ただ、	継続
・古紙のリサイクル化	○	段階ボールは取引先への配達に再利用出来れば利用した。また、	継続
		毎月送られてくる雑誌1社については5月に発送解約を行った。	継続
		次年度数値目標変更なし。	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2022年 月別目標	4.6	2.5	7.0	1.2	5.9	1.9	15.1	5.4	3.4	6.4	2.2	11.4
2022年 目標累計	4.6	7.0	14.1	15.3	21.2	23.1	38.1	43.6	47.0	53.3	55.6	67.0
2022年 実績月別	2.4	2.9	1.2	1.1	8.5	1.8	19.6	1.9	1.2	1.1	7.9	2.8
2022年 実績累計	2.4	5.3	6.4	7.6	16.1	17.8	37.4	39.3	40.5	41.6	49.6	52.4



コピー用紙の削減	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成。	数値目標変更なし
・プロジェクター使用による用紙使用量の削減	○	毎年目標未達成の月は契約書書類作成等印刷物が多く なり、それ以外では特に無駄な印刷等なかったと思う。 次年度数値目標変更なし。	継続
・分割印刷推進による用紙使用量の削減	○		継続
・裏紙再利用	◎		継続
・用紙(A4コピー用紙→坪量60g/m ² (3.7422g))	○		継続



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2022年 月別目標	0.94	0.75	1.04	0.58	0.36	0.58	0.49	0.34	0.44	0.62	1.30	0.48
2022年 目標累計	0.94	1.70	2.74	3.32	3.68	4.27	4.76	5.11	5.55	6.17	7.47	7.95
2022年 実績月別	0.92	0.49	0.48	0.43	0.39	0.72	0.86	0.77	0.14	0.79	0.31	0.48
2022年 実績累計	0.92	1.42	1.89	2.32	2.71	3.42	4.28	5.05	5.18	5.97	6.29	6.76



グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標	×	40品目中15品目のグリーン商品を購入した。	数値目標変更あり
・有害性の少ない資材の購入	○	事務用品は必ずグリーン商品があるか確認し優先して購 入する様に努めたが、目標達成は出来なかった。2017年 以降から目標値未達成の為、目標対応率を見直す。	継続
・事務用品グリーン購入対応率向上	×		継続



















水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標は行わない	—	日常的に節水に取り組んだ。	数値目標は行わない
・事務所内節水ポスター掲示	○		継続
・日常的に節水を心掛ける	○		継続



製品への環境配慮	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標は行わない	—	受託業務開発使用への進言を主に環境に配 慮した設計に取り組んだ。	数値目標は行わない
・開発仕様への参画	○		継続
・低消費電力を目的とした装置設計	○		継続
・有害物質を含まない装置設計	○		継続

□次年度の環境経営目標及び環境経営計画

2023 年度環境経営目標・計画

方針	目標	活動項目	SDGsとのつながり
二酸化炭素排出量削減	電力による二酸化炭素削減 基準年度実績 11,634 kWh 2020 年 4,316 kg-CO2 使用する二酸化炭素排出係数: 0.371 kg-CO2/kWh 2023 年度目標 基準年度比 97% 削減率 -3% 目標値 4,187 kg-CO2 11,285.0 kWh 2024 年度目標 4,143 96% 2025 年度目標 4,100 95%	・空調温度の適正化(冷房26℃~28℃ 暖房22℃~20℃) ・外気温が比較的低い場合、窓の開閉にて温度調整を行う。 ・クールビズ・ウォームビズでの服装による温度調節 ・OA機器の省エネモード設定 ・朝8時30分まで消灯(但し1ブロックのみ7時15分より照明)、昼休み消灯 ・電気製品の電源OFFの徹底 ・未使用設備の節電(消灯等)	  
	一般廃棄物の削減 基準年度実績 2021 年 67.7 kg 2023 年度目標 基準年度比 98% 削減率 -2% 目標値 66.3 kg 2024 年度目標 65.7 97% 2025 年度目標 65.0 96%	・燃えるゴミ=資源ゴミ(管理ビル共通処理方法変更)の為、分別の徹底を行う。 ・回収専用ボックスを設置し、用紙裏面の有効活用を推進する。 ・古紙のリサイクル化	 
廃棄物排出量削減	コピー用紙の削減 基準年度実績 2017 年 10.46 kg 2023 年度目標 基準年度比 75% 削減率 -25% 目標値 7.85 kg 2024 年度目標 7.85 75% 2025 年度目標 7.74 74%	・プロジェクター使用による用紙使用量の削減 ・分割印刷推進による用紙使用量の削減 ・裏紙再利用 ・用紙(A4コピー用紙→坪量60g/m ² (3.7422g))	 
	グリーン購入の推進 事務用品のグリーン購入比率向上 2023 年度目標 60.0% 2024 年度目標 60.0% 2025 年度目標 60.0%	・有害性の少ない資材の購入 ・事務用品グリーン購入対応率向上	
	製品への環境配慮 ※ 製品への環境配慮については、受託業務開発仕様への進言が主なため目標値は設定しない。	・開発仕様への参画 ・低消費電力を目的とした装置設計 ・有害物質を含まない装置設計	 
	課題を解決しチャンスを活かす取組	・働き方改革 有休取得促進、長時間労働の解消 テレワークの実施 インターンシップ	 
	水道水の削減 水使用量はビル管理の為、測定及び目標設定が不能な為日常的な節水のみを目標とし、基準値目標値等は設定しない。	・事務所内節水ポスター掲示 ・日常的に節水を心掛ける	
	年間活動計画 環境教育 一般教育 緊急事態対応訓練 生物多様性への取組 環境関連法規等の遵守評価 代表者による全体の評価と見直し 環境経営レポート 審査申し込み	・環境方針・目標・活動計画の周知 ・環境目標・環境活動進捗状況確認・評価 ・火災対応訓練 ・使用済切手や書き損じはがきの収集 ・作成と地域事務局への送付	  

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	当社の対応	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物、蛍光灯ランプ、一次電池	当ビル指示に従って分別	○
資源有効利用促進法	ディスプレイ・パソコン・複合機等	期間中の廃棄OA機器なし	○
小型家電リサイクル法	固定電話・電卓・ACアダプター・ケーブル等	期間中の廃棄小型家電なし	○
家電リサイクル法	冷蔵庫・テレビ	期間中の廃棄家電なし	○
消防法	管理ビルによる総合防災訓練	総合防災訓練(2022/10月参加)	○
福岡市廃棄物減量及び適正処理等に関する条例	一般廃棄物、蛍光灯ランプ、一次電池	当ビル指示に従って分別	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等
 ・特になし

□緊急事態対応の試行・訓練

作成日：2022年10月21日



緊急事態の想定： 福岡市中央区天神付近を震源とした震度6弱程度の地震が発生。しばらくして5階、その後6階で出火。初期消火を行うも鎮火できず火災が拡大、ビル入居者を避難させる。	
■実施日： 2022/10/19	■実施場所： 当ビル
■参加者： 立部、古藤、副島、後藤、木實	
■実施内容： <input type="checkbox"/> 通報訓練 <input type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練 13:55 訓練予告放送 14:00頃 訓練開始 ・地震発生(緊急地震速報で開始) (警報音:チャイム「緊急地震速報です強い揺れに注意して下さい」) 地震情報⇒館内放送が流れる。 非常階段等の地震被害の確認 14:10頃 火災発生(5階、その後6階) 初期消火班による初期消火(消火器、屋内消火栓) 早良区消防署に火災通報 ※館内放送で避難指示のあった階は避難を開始。 ↓ 14:20頃 全館避難放送 怪我人発生、救助活動 ↓ 14:50頃 避難場所集合 ※避難場所受付で各部屋避難人数を把握(避難人数を申告) ↓ 【全員避難後】 早良消防署からの総評、自衛消防隊長挨拶	
■評価： 3年ぶりにSRPセンタービル全体の避難訓練が行われた。 今年から避難時にドアに【避難完了】を貼る事になりました。皆決められた手順で避難する事が出来ました。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2023年6月5日

【評価】

今年度も二酸化炭素排出量、一般廃棄物、コピー用紙使用量について削減目標(環境目標)を達成することができた。次年度も引き続き協力し目標達成に社員一同努めて欲しい。
今年度より全社員の勤怠管理をクラウド型のシステムへ変更した。それにより紙媒体の削減ならびに給与明細等郵送物を廃止でき、有給や工数管理等についてもリアルタイムで管理することで過労防止や就業に関する事務の効率化を図る。
また、今年度初めて男性社員の育児休業取得を適用した。今後も育児休業に限らず様々な福利厚生環境の整備を検討したい。
生物多様性保全への取組みについては継続して使用済切手の収集を引き続き取組んでいく。
次年度も持続可能な企業への発展を目指し、SDGsを意識しながら環境へ配慮した活動を継続していきたい。

【見直し】

グリーン購入の推進の2023年以降の目標対応率を変更する。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり (実績を踏まえて見直す)
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

□取組紹介欄

生物多様性保全に向けた取り組みを身近なところからおこなってまいります。
その一歩として使用済切手や書き損じハガキ等の収集を実施し、市民団体のタンザニアポレポクラブに送ることで、世界遺産にも登録されているキリマンジャロ山(東アフリカ・タンザニア)での植林活動を支援していきたいと思えます。
また、特定非営利活動法人難民支援協会への寄付を行っています。



(2022年度収集分)